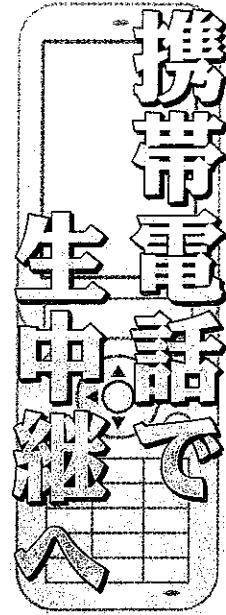


8月、美幌での全道車いすバスケット大会



携帯電話で車いすバスケットの試合を生中継。美幌町などが、8月に町内で開かれる車いすバスケットボールの全道大会を生中継する。NTTドコモのテレビ電話付き携帯電話（FOMA）で撮影した映像・音声はパソコンのホームページで閲覧するシステムを導入する。16日には実行委員会が設立。大会をきつかけに町は同システムの他分野への活用についても検討する考えだ。

町と有志団体が実行委設立

実行委は「バスアスラボ」美幌町との関係者で組織。大会は8月6日に町スポーツセンターで開かれ、道内8チームが参加する。中継は「バスアスラボ」のシステムで、試合の様子を伝える。FOMAを使った選手

他分野への期待も活用も

中継本部に試合の映像と音声を送る。中継本部からサーバーに配信してパソコンのホームページで閲覧できる。遠隔地のようにし、遠隔地などの応援者らに試合の様子を伝える。試合中継のほかにも、FOMAを使った選手



◀ 設立会議 ▶

幸選手の応援メッセージも配信予定だ。町しゃきつとアライザで開かれた設立会議には20人ほどが出席。システムの仕組みや各団体の役割などを確認した。大庭康一町長は「携帯電話を使ったシステムは福祉、防災にも活用できる。大会を足がかりに、さまざまな活動に結びつけたい」と、同システムへの期待感を表した。実行委は7月に次回を開き、本番に向けて細部を調整する。 (備)